

●中澤君や吉村君が里山農園での昆虫観察を 6 月 22 日(日)の昼前から出かけました。

当日も 33 度を超えようかという暑さです。若者の元気さは暑さをものとししないで自転車で普賢寺へ駆け上がってゆきました。この日の観察ではチョウ類 10 種類を目視確認できたと吉村君から報告がありました。また 10 号地のクヌギの胸高さにはクワガタが数匹確認でき、写真撮影が出来たこと、そしてナガサキアゲハと思われる蝶が今年初めて確認したと報告がありました。暑い暑い中、丁寧に確認していただきました。本当にご苦労様でした。ナガサキアゲハは南の地域の蝶々とされていましたが、近年温暖化の影響で北上が進み、京田辺でも見かけられるようになり、里山の会の里山農園では昨年到现在に続いて 2 年連続して発見しています。着実に温暖化が進んでいる証拠ではないでしょうか。

▲熱中症に気を付けましょう。

激しい気温の変化と梅雨のため仕方がないので、高湿度の連続などで予想され熱中症対策が強調されて、聞き流すことが普通になって緊張感が希薄に思えます。この気候のもとでの高齢者の単独行動は極力避けなければなりません。農機具を使うのだから体力の消耗は避けられているのだと案外簡単にうけとめているのではないのでしょうか。万一の事故が起きたときにこの暑い時期には田や畑には人が出かけておられませんので、助けてくれる人は無いのです。十分注意してくださいね。少なくとも携帯電話は手の届くところで体から離さないようにしましょう。

里山の会はこの時期、春先に花を咲かせ種を作り上げた希少植物の刈取り・除草作業の時期を迎えています。木津川堤防の希少植物（絶滅寸前種）10 カ所が作業予定と控えています。実行していただく皆さんは体力に自信のある方ばかりですが、できるだけ太陽が上がり切らない早朝や、夕方など涼しい時間帯を考えて取り組んでください。また作業時間帯も長時間での連続にならないよう配慮してお願いいたします。

●夏の昆虫観察会の実施について

昨年のこの時期(7 月 5 日)にはノコギリクワガタが里山農園の樹木から沢山採取出来しました。いずれも完全な自然のなかで誕生したものです。一方長年調査観察してきた国蝶オオムラサキの成虫が 2020 年以後確認できていません。そしてその年以來冬の幼虫も未発見が 2021 年以來続きました。それでこの近辺にはオオムラサキがいなくなったのでないかと危惧をしてきましたら、2025 年 3 月 13 日に中学生の吉村君が幼虫 2 匹の発見をしましたので、間違いなく生息してくれていると確信いたしました。少なくとも昨年は成虫が卵を産んでくれていたのです。今回の昆虫観察会で、成虫の確認ができれば幸いです。

7 月 5 日(土)集合 10:00 里山農園付近 12:00 頃まで
午後は自由時間 参加申し込み 20 人 小学生は保護者同伴 帽子 水筒 長袖 長ズボン 筆記具 参加費無料
(氏名 住所 年齢 電話 メール番号)

夏の昆虫観察会 7 月 5 日(土)

里山農園付近ではできるだけ自然環境のままの状態を保っていますから、様々な生き物が観察でき、オヤネズミ、バッタ、カエル、トカゲなども草むらでうごめいています。甲虫はノコギリクワガタを中心にたくさん生息しています。
園のチェックと指定されているオオムラサキの生育調査を、里山の会は 20 年以上継続してきました。そのような中、直接、園にとまったオオムラサキの幼虫の卵を採取できる観察棟(高さ 3m)を建設し調査をしてきました。8 年前には教育棟として 4m×10m の屋根を建設し、冬のオオムラサキ越冬幼虫調査で活用しています。
調査を知って 20 年が経過しましたが、オオムラサキの成体(成虫)を確認できたのは 4 回でした。
今年中学生がオオムラサキの幼虫を里山農園で発見しましたから、この里山周辺で成虫が飛翔していることは事実でしょう。この夏、国蝶オオムラサキが観察できることを願いつつ、里山に生える野生生物の観察観察会を開催いたします

集合 9 時 40 分 普賢寺小学校 または 現地、里山農園教育棟
場所 里山農園 里山農園 京田辺市水取菰谷 普賢寺小学校から南 800m
指導 松谷保之 元近畿大学教授
指導スタッフ 野村治(里山の会理事 長谷川) 金田徹(里山の会昆虫世話係)
持ち物 網 ケース お茶 長靴 帽子 水筒
参加費 無料



参加申し込み 事前申し込み 住所 氏名 年齢学年 電話番号 ●
子どもの参加はできません
雨天の場合 費解になればやむ 少雨開催の方向
連絡先問い合わせ 07740-64-4183

プログラム 10:00 開会挨拶 諸注意 自己紹介
10:10 挨拶
10:20 観察開始 農園付近散策
11:40 まとめ・交流
12:00 感想文を書いて解散



主催 特定非営利活動法人 NPO やましろ里山の会
住所 京田辺市田辺探田 15 電話 0774-64-4183 (f 兼)
親子事業として京都交響プロジェクト交付金に申請

●夜の生き物調べについて

昨年は13家族37人の参加がありました。そして確認した45種類の昆虫を桜谷先生に同定していただきました。また中学生たちが4名も来られて大変盛り上がりしました。昆虫たちが集中して集まってくる時間帯を過ぎる頃に終了したいと思います。(解散予定8時30分頃)

7月26日(土) 集合は16:00~20:30頃 里山農園・教育棟 駐車場あり 参加申込 50人
小学生は保護者同伴 帽子 水筒 長袖 長ズボン 筆記具 懐中電灯 参加費無料(氏名
住所 年齢 電話 メール番号)

●文化協会から講演の依頼で「京田辺市の自然について」お話しします。 7月26日(土)

夏休みの工作のお手伝いとして「松かさツリーづくり」と「竹サインペン」を行います。多数の皆さんのご来場をお待ちしています。7月号の市政便りで参加案内が掲載される予定です。会場は京田辺市中央公民館で行われます。

農園部会だより

●6月21日(土)にジャガイモの収穫で草刈りや追肥・芽掻きなどを実施しました。

4月に入って朝晩は冷え込みが続き、雨の無い日が続いたので、心配で仕方ありませんでした。しかし獣害にも遭わずに収穫できた男爵いも約150kg、メイクイン約50kgになりました!大きさもこぶしぐらいの立派な物もありました。また、キュウリ・ピーマン・万願寺も順調に育っていて収穫できました。収穫した



農産物の一部は、会員が協力金をもって引き取ってくれました。

携わってくれた皆さま、携わることはできなかったけど温かく応援してくれた皆さま、本当にありがとうございます。(3月20日種芋の植付けたのは:男爵132株、メイクイン24株でした。)

6月24日(火)の定期作業日は、小雨で蒸し暑い中、熱中症に気をつけて作業をしました。里山農園では農薬を使わないこともあり草が伸び放題の状態なので、少しでもきれいで美しい里山農園をめざして草刈りを行いました。また、キュウリが大きく育っていましたので収穫して、翌日朝一番にこども食堂用にと社会福祉協議会に、ジャガイモとキュウリを届けました。

●夏野菜の収穫期に向けたご協力のお願い



5月10日に植え付けた夏野菜ですが、先週よりキュウリの収穫が始まり、すでに実も大きくなっております。いよいよ本格的な収穫シーズンに突入し、ゆっくり構えてはいられない状況となってまいりました。今後、大量収穫が予想されるため、その対応策を急ぎ検討しなければなりません。一部の方に負担が集中しないよう、皆さまのご協力を何卒よろしくお願いいたします。

また、約一ヶ月前に皆さままでご相談いただいた協力金販売用の明示、のぼりについては、ようやく上西産業さんに発注することができました。収穫の最盛期には完成している見込みですので、どうぞご期待ください。さらに重要なのが、陳列台の設置場所の確保です。日陰で直射日光の当たらないスペースを探し、野菜の鮮度保持や作業の快適さを確保する必要があります。こちらにつきましても、お力添えをいただけますと大変助かります。いずれも緊急に対応が必要な課題となっておりますので、引き続きご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。